

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が禁止の対象となる玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組む必要性。	暗証番号による開閉管理は継続的に施行するが、利用者様がいつでも外出していただけるような環境。 また、ケア・カンファレンス会議やフロア会議等の場で全職員が積極的に身体拘束をしないケアの実現。	「虐待防止・身体拘束排除の取組みについて」の研修を実施。事業所としての「虐待防止に係る指針」を事業所内に掲示して明確化する。予測されるリスクを家族に説明の上、見守りの徹底等、身体拘束をしないケアに努める努力をする。外出の希望や気配を感じた時は、職員体制が許せる限り、さりげなく付き添って外出。	12ヶ月
2	2	「事業所と地域とのつきあい」について、これまでは事業所の行事に地域の方をお招きする、あるいは、行事を共催するといったことにとどまっている現状がある。	項目3「地域貢献」とも共通する事項であるが、小地域福祉活動の場を提供するとともに、地域密着型の認知症対応型共同生活介護事業所として、地域の方が悩まれている在宅での認知症介護や福祉のなやみ・困りごとについて、相談等を掘り起こし、解決に向けての情報や方策を発信することにより、地域と密着したつきあいの実現。	地域の行事等に参加する視点にとどまらず、地域密着型サービス事業所の特性、ノウハウ・人材を生かし、増築する「地域交流スペース」を地域住民の小地域福祉活動展開の場として提供するとともに、認知症介護をはじめとする介護・福祉の悩みや困りごとを掘り起こし「地域交流スペース」において相談を実施。	12ヶ月
3	10	利用者や家族等が、意見・要望を管理者・職員外部者へもっと知らしめる機会を持てるように考察。	御家族の面会来訪時や運営推進会議の際、その他の状況下でも忌憚のない意見、苦情、要望をいただけるような環境を構築。	居室担当から積極的にコミュニケーションを持ち、信頼関係の構築。家族訪問時には必ず挨拶を心がけ、家族の体調を聞き、利用者の状況等の報告を行いながら、さりげなく家族からの意見等の把握に努める。御家族の面会来訪時や運営推進会議の際、気軽に意見、苦情、要望をいただけるような環境整備。苦情等について記録しフロア会議等の場で職員に周知徹底をおこない「いな穂だより」等に改善策を載せる。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。